



文化功労者（左 中柴氏、右 佐竹氏）

福島県教育委員会では、多年にわたり本県の教育・文化の向上発展のために貢献されたかたがたに對し、文化の日に文化功労者の表彰を行っておりますが、昭和五十二年度の文化功労賞は、中柴光泰氏（いわき市）、佐竹富三氏（本郷町）に贈られました。中柴氏は、いわき短大校長をはじめとして、永年にわたり本県教育に情熱を傾



松平知事と握手を交わす文化功労者（写真・福島民報社提供）

注され、その間、いわき市の生んだ明治の歌人天田愚庵の研究に半生をかけ、多くの文芸著書を残されました。佐竹氏は、明治十年創業の富三窯三代目窯元として広く知られ、会津白磁の伝統を守るとともに、現在会津在住の数多くの陶芸家の指導的役割を果たす一方、本県窯業界の後継者育成にも尽力しておられます。



天田愚庵に関する研究著書



書齋における中柴氏